

1 避難先 自宅からの避難先を逃げどきマップ（11-22ページ）で確認してメモしておきましょう。

：原則：

早めの避難先

- 最寄りの浸水が想定されていない指定緊急避難場所
- 親戚宅・知人宅・職場など市内に限らず、より安全な場所

：逃げ遅れたら・・・：

その場そのときで命を守れる場所へ

- 高い建物や高い場所
- 自宅の高いところ・斜面から離れた場所
- 市の避難場所に限らず、駆け込めるところ

2 避難の前の備えやいつ避難を開始するかをメモしましょう。

おおよその時間の目安	発信される情報や状況など	主な備え [メモ欄]	備えの例
3日前	台風発生 台風予報		<ul style="list-style-type: none"> ●テレビ、インターネットなどで今後の台風を調べ始める ●家の周りに風で飛ばされるようなものがないか確認
2日前	大雨注意報 洪水注意報 台風の今後の見通し		
1日前	大雨警報 洪水警報		<ul style="list-style-type: none"> ●避難するときにもっていくものを準備 ●携帯電話を充電 ●住んでいるところと上流の雨量を調べ始める ●ハザードマップで避難場所や避難の方法を確認 ●川の水位を調べ始める
半日前	<p>緊急度</p> <p>氾濫注意水位到達 レベル3 避難準備・高齢者等避難開始 高齢者等は避難</p> <p>避難判断水位到達 レベル4 避難勧告 全員避難</p> <p>氾濫危険水位到達 レベル4 避難指示（緊急） 全員避難完了</p> <p>川の水が氾濫 レベル5 災害発生情報 命を守る最善の行動</p> <p>高</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●携帯メールなどで避難情報を受信 ●避難しやすい服装に着替える ●避難勧告や避難指示（緊急）を受信 ●安全なところへ移動を始める

※災害状況の進展により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が重要です。